

令和元年度 第4回豊南地域会議 会議録

■日 時 令和元年6月20日(木) 午後6時30分～午後8時50分

■会 場 豊南交流館 1階 大会議室

■出席者 <委員>市川 繁 奥村 学 片桐 弘 小山 光義
坂田 一浩 鷹見 喜仲 橘 寿一 西口 武彦
林田 賢士 堀 恵子 松岡 ミネ子 三尾 良介
宮川 尚子 山内 悟 吉森 則雄
※欠席者 杉浦 百恵 瀧上 久 土屋 恵稔
<交流館>梶 いづみ (豊南交流館長)
<事務局>後藤 哲也 (拳母事務所長)
梅村 剛 (地域支援課 担当長)
古田 祥久 (地域支援課 主査)
近藤 裕介 (地域支援課 主査)

■次 第

開 会

- 1 豊田市民の誓い唱和
- 2 会長あいさつ
- 3 地域予算提案事業の検討について
 - (1) 振り返り
 - (2) アンケート調査内容協議 別添「アンケート調査 実施案」
 - (3) 各部会での実施内容検討 別添「実施内容検討ワークシート」
 - (4) 各部会との検討内容共有、意見交換
- 4 その他
 - ・わくわく団体活動状況報告

閉 会

■議 事 (要約)

3 地域予算提案事業の検討について

(1) 振り返り

- ・事務局から資料を元に、前回の振り返りと6月7日(金)に実施したリーダー会議で決定した実施スケジュール等について説明

(2) アンケート調査内容協議

「アンケート調査 実施案」を元に、アンケートの実施内容を協議

◆決定事項

- ・個人を対象として、実施する。
- ・基礎資料として活用できるように防災全般に関するアンケート内容とする。
- ・サンプル数400件を目指して無作為に1,200件を抽出し発送する。
- ・以下のとおりリーダー会議を実施する。

日 時：7月5日（金）午後1時30分から

会 場：豊南交流館 第2中会議室

参加者：三尾会長、鷹見副会長、奥村委員、市川委員、西口委員、宮川委員
事務局

目 的：アンケートの質問内容等の検討

◆意見等

- ・発送先は、男女比、年代、自治区に偏りが出ないように抽出する。
- ・回答方法は、質問用紙と回答用紙を分けて質問用紙が手元に残る様にする。
- ・返信用封筒を同封し、返送してもらう。
- ・アンケートを通じて家族で防災について話し合ってもらえるようにしてはどうか。
- ・検討グループごとにアンケートを実施することは避け、防災対策部会として一度に聞きたいことを聞けるようにする。
- ・アンケートの中に被害予測等を入れて欲しい。

(3) 各部会での実施内容検討

各部会に分かれて検討事項を協議

(4) 各部会との検討内容共有、意見交換

各部会での決定事項と今後の検討事項について発表及び意見交換

各部会からの発表内容は、以下のとおり

【交通安全部会】

◆決定事項

- ・来年度は、高齢者に重点を置いた事業内容とする。
- ・来年度は、スクアードストレートを実施したい。
- ・今年度、小学校で実施する笑劇派の劇を高齢者にも見てもらえるように自治区の高齢者部会、自治区回覧、交流館祭で呼びかけを行う。

◆意見等

- ・高齢者への交通安全の取組は、高齢者クラブが独自に活動している。

【防災対策部会】

<「日常的な備え」検討グループ>

◆決定事項

- ・アンケートの設問数を提示している案から削減する。

◆意見等

- ・起震車は、スペースの確保等が困難なため依頼しない。
- ・掲示物については、他の検討グループとも協議していく。
- ・ふれあいまつりでは、非常食の試食会や簡易スリッパの作り方、段ボールベッドの作り方、転倒防止アイテムの紹介を行う案が出た。
- ・講演会は、出前講座や予算があれば笑劇派へ依頼する案が出た。

<「避難所運営」検討グループ>

◆意見等

- ・避難してきた人が、まず何をしたら良いかわかるマニュアルにしたい。
- ・今後のスケジュール確認を行った。

月	内容
7月	豊南地域として必要となる情報の検討
8月	女性、子ども視点での避難所運営の検討
9月	高齢者、障がい者視点での避難所運営の検討
10月	崇化館等に訪問し、情報交換
11月	避難所内（教室等）の利用MAPの作成
3月	完成

- ・避難所運営訓練は、来年度に実施する。

<「人命救助」検討グループ>

◆決定事項

- ・7月1日（月）に分科会を実施する。

◆意見等

- ・バトンに収納する安否確認カードの内容は、持病や配慮事項をアンケート形式で選択できるようにして記載の煩わしさを軽減したい。
- ・命のバトンを持って受付に来た人たちに対してどの様な対応を取るか、どの様に安否確認カードを受け取るかの検討が必要
- ・安否確認カードの提出方法について、コピーを提出してもらうか、カードを転写式にしておくなど最適な方法を検討していきたい。
- ・命のバトンの対象者について検討していきたい。
- ・バトンを持っているが、避難所に来ない人たちについては、個別に訪問して対応

する余裕が発災時には無いと想定されるため、避難所に来てくれた人の対応を優先して行っていく。

- ・安否確認カードを保管する容器の形状についても検討していく。

筒式：出し入れが不便

クリアファイル式：個人情報が見える状態になってしまう

- ・命のボタンを自治区にも展開する場合、配布だけならばできると思うが、それをいかに活用していくか運用方法を考えることが難しい。

4 その他

- ・わくわく団体活動状況報告

丸山まちづくり協議会の「地域の絆を深める花壇づくり事業」を見学した三尾会長、水源公園を愛する会の「矢作川沿いお休み場の景観づくり」を見学した吉森委員からそれぞれ活動状況について報告

(終了)

<次回開催日>

令和元年7月18日(木) 午後6時30分から 豊南交流館